

令和3年6月1日

敬愛短大附属幼稚園だより 6月号

昨年の今頃を振り返ると、4月・5月は正体不明の新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言となり、教育機関も文部科学省からの通達で、一斉に休校や休園。ようやく6月から新学期という状態でした。

本年度は、幕張海浜公園での春の親子遠足も天候に恵まれ、久しぶりに親子共に身体を屋外の広い場所で動かしたり、お弁当を食べたりと笑顔がたくさん見られるなど、前年では例年のようにできなかったことができる喜びを感じました。公園も本園のみの団体利用で、貸し切り状態となり思う存分楽しめたのではないかと思います。

このように普段はそこまで感じていなかったことが、このような状況になって初めてとても恵まれていたんだという事に気がつきました。現代社会は様々な点で飛躍的に便利になり、当たり前の事のように感じてしまい、水はいつでも飲めるとか、太陽の光はいつでもあるなど、きっと私たちの普段の生活の中にもこのような事が改めて見てみるとたくさんあるのではないのでしょうか。

1 幼稚園の自然環境は元気な子ども達の大切な遊び場

我が家のフェンスに絡みついているハゴロモジャスミンが5月に毎年花を咲かせ、そよ風が吹くと少し離れていても甘い香りが漂います。夜などで視界が暗い時などは更に嗅覚が敏感になり、ジャスミンの香りが一層際立ちます。本園ではまだとてもジャスミンは小さいのですが、ようやくツルがフェンスに巻きつくところまで成長し、来年の5月には新芽につく花が良い香りを漂わせてくれる事を期待しています。場所はお迎えの際に保護者の方々に待っていただいている東門右手側のフェンスです。巻きついているツルの先を痛めないようにお願いします。

園内では、「かがくのかだん」のスイトピーの花に鼻を近づけるととても良い匂いがします。ジャスミンのように風で拡散するようなものではないので、お迎えに来られた際にはぜひ鼻を近づけてみてください。意外と皆さん香りが良いことに気がついていません。

また、昨年植えた「ブッドレア」（通称：バタフライブッシュ）は当初は小さかったのですが、今では大人の背丈ほどに成長し、昨年より花芽をたくさん持って開花が楽しみです。（開花期7月～10月）大きな房は小さな花の集合体ですが、その重みに茎が耐えられるか心配なくらいです。通称の「バタフライブッシュ」と呼ばれる意味は、この花の香りに多くの蝶が引き寄せられることからこのように呼ばれているようです。そのくらい蝶にとっても魅力的な植物です。

一方、園庭の倉庫近くの野草園ではクローバーが増え、先生やお友だちの中には幸せの四葉のクローバーを見つけた人も出ています。皆さんも来園の際には探してみてください。この野草園は、通常なら刈り取られてしまうような“いわゆる雑草”と呼ばれてしまうような植物が中心ですが、その他の植物も種が運ばれてきて繁殖するなど多様です。この野草園は、子どもたちが大好きな多様な昆虫の住み家となるように、野草をあえて繁殖させています。

2 いよいよ短大生の実習が始まります

5月24日から短大の2年生の教育実習が始まり、その後には1年生の観察参加実習と続きます。1年生の実習は1班が20人前後で、6月21日から始まり、8班構成で行い、7月までとなります。再来年には保育所や幼稚園の他、各種施設の先生になるフレッシュな若者たちですので、身体を使って子どもたちをたくさん遊ばせてくれるものと期待しています。きっと初日は緊張しながら登園してくると思いますが、温かく見守っていただければ幸いです。このように多くの保育者を短大は長い間養成していますので、県内や茨城県の保育所や幼稚園等には敬愛短期大学の卒業生がたくさん活躍しています。もちろん、本園にも敬愛短大の卒業生で、子どもたちが大好きな先生がたくさん活躍しています。

（園長 杉山清志）